

久坂くにえ通信



第74号 2018年7・8月

■放課後かまくらっ子 いよいよ始まる

◎放課後の子どもが安全に、充実した時間を過ごす場所としての放課後かまくらっ子第一弾が深沢小学校で始まりました！

各小学校の児童を対象として、施設内のフリースペースや、小学校の体育館などで自由に遊んだり、地域のボランティアの方などが提供するプログラムなどに参加したりするアフタースクール（放課後子ども教室）と学童保育を一体的に、もしくは連携して実施する小学生の居場所です。

すでに市内では稲村ヶ崎小・今泉小で放課後子ども教室が実施されており、地域の方が実施する理科実験や、読み聞かせなどのプログラムに多くの児童が参加しており好評を博していました。

私は数年来、一般質問や各委員会などでこの放課後子ども教室の全校実施を行政に要望してきましたが、全校において32年度までに実施される事となりました。

多くのお子さんに充実した放課後の時間を過ごして頂ければと思います！

一方、安全な環境も子どもにとっては最重要課題です。最近痛ましい報道を多く散見しますが、各小学校PTAなどからあげて頂いている通学路の危険箇所については、確実な対応が必要です。

→深沢子どもの家開所式
内覧会に参加しました！
広々としたスペースが
用意されています。



■議会 新三役決定

先般の6月定例会では新たな三役が決定されました。

議長には当会派・鎌倉のヴィジョンを考える会の中村聡一郎さん、副議長には大石和久さん、また監査には高野洋一さんが選出されました。議会運営委員会委員長は当会派・河村タクマさんが務めることに！ 私は昨年度より1年間議選監査を務めさせていただきました。地方自治法の改正により議会選出監査の有り方が再考を求められている過渡期ですが、事務事業の一定の流れを把握している議員としての立場からの監査の意義も感じた1年でした。

■ 認知症は世界共通の課題

・ 認知症という少子高齢化がハイスピードで進む日本特有の課題と思われそうですが、世界共通の問題として取り組みが進められています。

スウェーデンで開催されている認知症フォーラムが初めて日本で開催されるということで参加しました。

取り組みが先行するスウェーデン、フランス、イギリスなどで共通する取り組みは

◎QOLを維持しながらの住み慣れた家での暮らしをサポート

◎そのために適切なタイミングで医療やケアにつなげる体制づくり

◎医療介護費はすでにパンク状態にあるため低コストで良質なケアを提供

◎それを実現するのが、多職種チームによるキュアとケアの

包括的な提供、

◎認知症への理解ある社会、地域づくり ということ、

これからは認知症の初期対応により早期診断・介入を行い、自宅での生活を送ることが求められています。

なお平成30年度をスタート年度とする第5期高齢者保健福祉計画が策定され、所属している観光厚生常任委員会で報告されました。

認知症対策は同計画の重点事業の一つとなっており、やはり早期診断・早期対応に向けた支援対策の構築がうたわれています。確実な実施と、また介護者へ負軽減の取り組みを求めました。



(上記フォーラムでの一コマ↑)

■ 鎌倉中央公園に遊具が設置されました



かねてよりお約束をしておりました公園への遊具の充実。このたび鎌倉中央公園の子どもの森に遊具が設置されました。シンプルな遊具ですが、更なる増設も予定されています。

自然に親しみながら、遊びの一つのきっかけをつくることのできる遊具。

どうぞおでかけの際にご覧になってください！

(鎌倉中央公園 鎌倉市山崎 1667 番地)

久坂くにえまで 鎌倉市への要望、質問をお寄せください どんな事でも結構です！

TEL/FAX 0467-47-1905 メール: kusakakunie@gmail.com

プロフィール=====

水瓶座 O型 家族:夫、長男(小学生)長女(保育園) 聖心女子大学文学部英文学科卒業

旅行会社海外営業・国内外IT会議手配プロデュース社を経て2005年初当選・現在4期目

副議長・教育こどもみらい、観光厚生常任委員会各委員長、

予決算特別委員会委員長など歴任

現在:観光厚生常任委員会、議会運営委員会所属

趣味:美術鑑賞・たまに読書

